

小檜山博講演会

「『出刃』受賞のころ ——文芸誌・同人誌と北海道の作家たち」

第1回北方文芸賞に輝いたあのころのこと、北海道にこだわって書き続けることの意味、小檜山氏が自ら語る——。

【とき】

8月11日（金・祝）

14:00～15:30

【ところ】

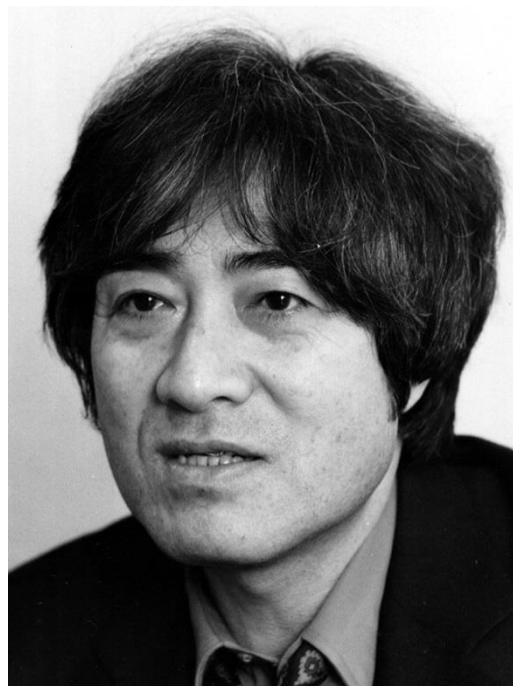
北海道立文学館 地階講堂

【申込方法】

7月11日（火）9:00より

電話で先着順に受付

定員 80 名 入場無料



小檜山博（こひやま・はく） 作家。1937年、滝上町生まれ。北海道新聞社に勤めながら作品を発表する。故郷の農村から着想を得た「出刃」が1976年に第1回北方文芸賞を受賞、芥川賞候補にもなった。以後「すばる」「文学界」「新潮」などで活躍し、北海道の過酷な現実を見つめる作品を発表し続ける。これまでに北海道新聞文学賞、泉鏡花文学賞、北海道文化賞、北海道功労賞などを受賞。代表作に『光る女』『風少年』『光る大雪』『漂着』など。2015年1月、北海道立文学館特別展示室で特別展「小檜山博の文学—野生よ 退化する現代を撃て—」を開催。

展覧会のご案内

「北海道文学館」創立 50 周年記念特別展

「『北方文芸』と道内文学同人誌の光芒」

開館時間＝9:30～17:00（入場は 16:30 まで）

休館日＝月曜日、7月18日（火）※7月17日（月・祝）は開館

観覧料＝一般 500（400）円、高大生 250（200）円。

（ ）内は 10 名以上の団体料金。

中学生以下、65 歳以上は無料。

中島公園 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-4

電話：011-511-7655 FAX：011-511-3266

施設設置者：北海道教育委員会

指定管理者：公益財団法人北海道文学館